

～8人の議員が登壇～



町政を問う

一般
質問

3月定例会

議員	質問事項	ページ
佐藤 定男議員	財政調整基金の残高が多いのではないかと	13
松浦 常雄議員	幼小統合後の教育をどう図るのか	14
	企業誘致と商店街の活性化の推進方策は	
阿部 泰蔵議員	道の駅計画は中止か	15
	町道陥没事故を防げないか	
東海林一樹議員	仮設住宅から町営住宅へ転居可能か	16
	町長公約の町民交流の場とは	
浅野 富男議員	藤田病院の医師不足は	17
	空き家対策を	
村上 晴夫議員	下水汚泥の全量搬出はいつか	18
	町の維持発展のための行財政改革は	
	職員の給与が国を上回ったが	
村上 正勝議員	藤田駅前駐車場を無料開放に	19
	国見小学校校庭の早期改修を	
	県北浄化センターは迷惑施設だ、代償を	
渋谷 福重議員	住宅除染をどう進めるのか	20

Q 財政調整基金の残高多いのでは

A 町民の要望に沿った活用を図っていく

問

財政調整基金は町の借金の返済、その他財源に不足が生じた時のための積み立てと理解している。私たちの家計に例えると普通預金と同様で使途も自由と考えてよい

この基金を設けている。

問

財政調整基金の残高の目安は標準財政規模の10%といわれている。平成23年度の国見町の標準財政規模は33億7500万円、基金の残高は8億400万円だから目安と比較して約3億円多いのではない

この基金を設けている。

総務課長

計画中の道の駅を含めた交流の場や役場庁舎建設などの大型事業の資金に充てる予定である。

※標準財政規模とは、町が通常水準の行政サービスを提供する上で必要な財源の目安となる数値で、地方税や地方交付税など自由に使えるお金の大きさを表している。

問

今時点だから言えることだ。平成19年から基金の残高が毎年増加している。何か目的があって積み立てしたのか。

総務課長

「道の駅構想」や緊急の財源不足も視野に入れ、積み

立てを行ってきた。

問

提案だが、基金残高の目安である4〜5億円は確保しておき、残りの資金は知恵を出し合って優先順位を決めて使うようにしてはどうか。大型事業だけが役所の仕事ではない。身の回りの小さなことなど町民から要望の多いことに税金としてお預かりしたお金を有効に使ったらどうか。基金の活用

の仕方について町長の見解を伺う。

町長

単に積むだけではだめだ。まさに議員の提案に同感である。今後、24年度の決算状況を見て、目的基金(使い道を決めた基金)に積むことになった。また、町民の要望など、様々な観点から総合的に検討し、財政調整基金を弾力的に活用していく。



要望お待ちしております(町民相談室の安藤さん⑤と佐久間さん⑥)

財政調整基金の年度末残高と標準財政規模の推移

単位：百万円

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
財政調整基金残高 A	598	627	695	750	804	804	963
標準財政規模 B	2,901	2,994	3,114	3,292	3,438	3,375	3,344
A/B ; %	20.6	20.9	22.3	22.8	23.4	23.8	28.8



佐藤定男議員